

はすだね通信 第40号

みんなで進めよう
茨城農業改革

土浦地域農業改良普及センター

平成23年5月2日発行

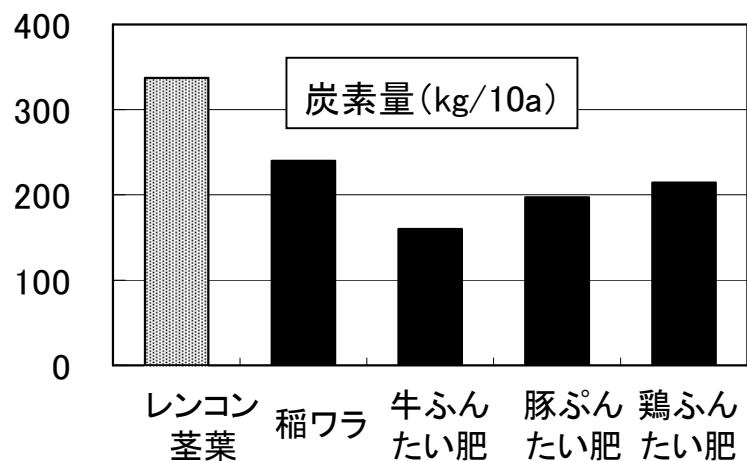
エコファーマーの認定技術について

エコファーマーの認定を受けるための土づくり技術である堆肥等有機質資材の施用にレンコンの茎葉のすき込みが認められました。

エコファーマーとは、「持続性の高い農業生産方式」の導入計画を作り、県知事の認定を受けた農家のことです。「持続性の高い農業生産方式」は①土づくり、②化学肥料低減、③化学農薬低減の3つの技術に一体的に取り組む生産方式です。土づくり技術としては、「たい肥等有機質資材の施用」が必要となりますが、レンコン栽培では、土質や作業性の問題でたい肥の施用が減少傾向にあり、エコファーマーの認定が受けにくい状況でしたが、本年度から新たに「たい肥等有機質資材施用」にレンコン茎葉のすき込みが認められたため、認定を取得しやすくなりました。

一方で、肥沃な圃場を末永く維持するには、たい肥の投入が不可欠です。可能な限り、たい肥の施用は行ってください。

レンコンの収穫部を除く茎葉(葉身、葉柄、地下茎)の量について普及センターで調査しました。その結果、炭素量(炭素は土づくりに重要な要素になります)や窒素量は他の土づくり資材と比べても遜色がないことが明らかとなり、茎葉のすき込みが土づくり技術として評価されました。

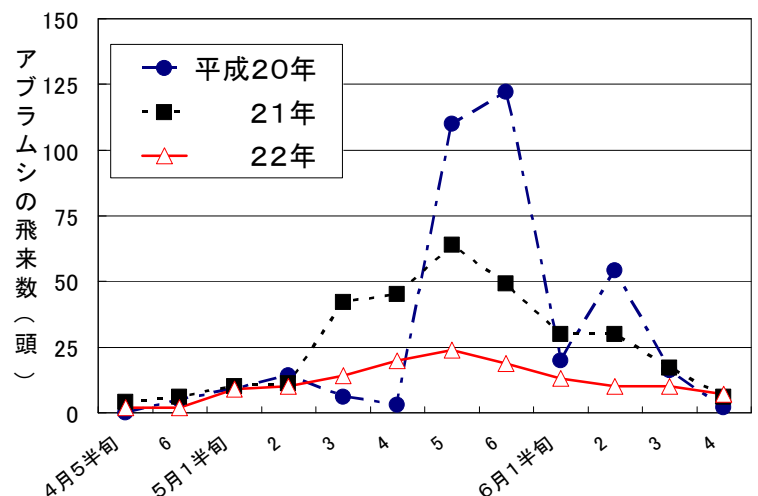


※たい肥は平均的濃度なもの 1000kg、稲わらは 600kg で想定

エコファーマーは環境にやさしい農業を実践していることをアピールするために有効です。これを機にエコファーマーの認証取得について是非考えてみて下さい。詳しくは普及センターまでお問い合わせ下さい。

今年もアブラムシの発生予察を実施します！

今年も、普及センターではアブラムシの発生状況(飛来数)調査を行います。昨年までの調査から、飛来は4月下旬から始まり、5月下旬にピークになることが分かりましたが、天候によって発生状況は毎年異なる可能性があります。飛来数の調査は半旬(5日)ごとに更新し、その結果は JA 土浦れんこんセンター、田村蓮根部会集荷場、霞ヶ浦南支店に掲示します。是非、防除の参考にして下さい。詳しくは普及センターまでお問い合わせ下さい。



環境にやさしい農業のため、水かけ流しはやめましょう!!!

土浦市真鍋5-17-26 土浦合同庁舎内 土浦地域農業改良普及センター Tel 029-822-8511 Fax 029-822-7370